

高齢者への増税と負担増―生存権脅かす事態に

高すぎる国保料の改善を要求

日本共産党
市議会議員

小川勝美

「計算間違いじゃないの？」 住民税増税の通知に驚きの声が続いています。これにくわえ札幌では国保料が大幅にアップしました。高齢者の生存権を守るため日本共産党はひきつづき全力をつくします。小川勝美市議の質問を紹介します。

算定方式の改悪で 区役所に苦情殺到

六月十四日、今年度の国保料の納付書が区役所から送付されました。

札幌市は、昨年十二月議会で、今年度から国保料の計算方式を改悪し、高齢者や低所得者の値上げになる方式にしました。

昨年十二月議会の条例改悪に反対したのは、日本共産党だけでした。日本共産党の小川勝美市議は、三



月議会の国保会計予算審議で、低所得者への国保料値上げを厳しく追及し、六月の納付書が送られる時、区役所の国保窓口で苦情が殺到する事を指摘しました。

保険証とりあげは 悪質滞納者に限定を

同じ所得で社会保険料の三倍にも

小規模作業所の利用料金無料化継続を

小川市議が村上厚別区市政 対策委員長と一緒に施設訪問

小川勝美市議は、村上ひとし厚別区市政対策委員長とともに、七月四日、報恩学園などの障害者（児）施設と障害者が通う小規模作業所を訪問し、四月から施行された「障害者自立支援法」の悪影響などについて調査・懇談しました。

小規模作業所では、「十月から利用料金が徴収されることになっていくが、札幌市は、本年度に限り従前どおり無料にしているが、来年度からどうなるのか不安です」と訴えられ、小川市議は、「無料を継続できるように作業所連絡会（さっされん）などととも当事者が声をあげるこ



訪問し懇談する小川市議と村上さん

とが大事です」と励まし、ともに運動することを約束しました。

なる高すぎる国保料の滞納を理由に

三月一日現在で、一万三千世帯から保険証を没収し、実質的に病院にかかれぬ資格証明書を発行している問題を追及。さいたま市や名古屋市は基本的に発行していない事を示しながら、十分な資力があらずながら故意に保険料支払わない悪質滞納者に限定するよう要求しました。

しかし、六月一日現在でも、一万二千六百世帯に資格証明書が発行されています。

児童相談所に 保健師が配置

児童虐待問題が大きな社会問題になっていくなかで、小川市議の追及などで市の児童相談所の児童福祉司が昨年四月から国基準の二十四人が配置され、昨年十月の議会で小川市議は、横浜市や仙台市の事例をあげながら、ネグレクト（養育放棄）が多い札幌の場合、急いで保健師を配置すべきと要求しました。四月から、札幌の児童相談所にも一名の保健師が児童福祉司の別枠で配置になりました。

来年の札幌市議選の予定候補者を発表

(第一次分)
党道委員会と市議団

日本共産党北海道委員会の青山慶二書記長と党札幌市議団の小川勝美団長は、6月19日、札幌市役所で記者会見し、来年春の札幌市議選の予定候補者を発表しました。なお、小川勝美、飯坂宗子両議員は勇退します。



井上ひさ子 手稲区、現
くまがい憲一 西区、現
岩村よね子 南区、前
池田ゆみ 豊平区、新
村上ひとし 厚別区、新
伊藤りち子 白石区、現
太田秀子 東区、新
宮川じゅん 東区、現
坂本きょう子 北区、現
小形かおり 中央区、現